

みどりの杜俳句会



春の野の花見て心いやさるる	佐山けさ子
花なづなコップに挿して愛らしき	飯野はつ志
一花つつ八重水仙のうつ向けり	木本 弘子
三味線草ばちの実をつけうすみどり	西 ツル
田の緑りのなづなの花や空へ向く	吉田 愛子
庭先のらっぱ水仙明るかり	梅澤きくえ
路のとたう畑の土手に土を脱ぐ	田村 好子
畦ゆくや土のいぶきの路のたう	梅澤 時江
前山の斜面に路のたう三つ	鈴木 啓子
段咲きの赤紫や仏の座	高橋 ツ子
紅椿花びら重ねはなやかに	今村千鶴子
濃き河津桜一樹や道ほとり	関口 侑子
フリージア蕾ふくらみ香りよし	小宮 勉
庭隅の落葉にうまり路のたう	野口利江子
今朝の鴨顔水に入れ動かさる	岡部富美子
尾を上げて川底つつく真鴨かな	土屋 厚子
水仙を生けて玄関香のこもる	初雁 功子
水源の山へと梅林つづきけり	山田 美子

人権シリーズ

「夢をあきらめない」

(413)

第21回秩父郡市人権フェスティバルに参加しました。
オープニングイベントで障がい者の人たちのバンド演奏があり、指導者のエレキギターに合わせ、体でリズムを取りながら楽器を打ち鳴らす姿に、日々の練習の成果が感じられました。「サヤカロックハン」というバンド名で、地域イベント等の活動を展開中とのことでした。
また、講演会では、シンガーの木山裕策さんが「自分に向き合って」と題してお話してくれました。自身が病気をし、山あり谷ありの苦しい人生の中でも、「子どもたち到最后まであきらめない姿を見せたい」「夢をあきらめない」と思い続け、長年の夢を叶えることができたという話は、とても心に残りました。
夢を追いつめて生きられる人は、素晴らしいと思います。でも、すべての人が夢を可能にできるとは限りません。平々凡々な生活の中でも、一歩前へ進めた喜びを感じ、明日への希望を持ち、歩んでいければと思います。
時代の変化はとも早く、上を見たら際限がなく、理想と現実のギャップに悩む毎日ですが、一日一日を大切に充実した日にできればと思います。
障がい者や病人、高齢者、健康な人等、何人といえども一人では生きていきません。お互い助け、助けられ、援助や協力があって、社会生活が成り立つものと思います。各々の個性や特性を尊重し、認め合い、その人らしい生活をおくることできる社会であることを望みます。

東秩父村民生・児童委員協議会 金子 幸枝

アートの世界

1年に2回の花を咲かせてくれる「月下美人」という花があります。下を向いていた蕾が膨らみ、上を向いて勢いづいてくるとお花の頑張りが伝わり、頑張つて咲いてくれた花を夜に家の中に入れてスケッチしました。甘い香りに包まれた幸せな時間です。スケッチをもとに版画の下絵を仕上げて掘っていききました。「描いて、彫って摺り上げる。」それぞれの時間を大切に楽しみ、版画作りをしていきたいと思っています。

「月下美人」
作者 版画を楽しむ会

吉野 節子さん（安戸）

